

斗争首腦部ニ在リテハ前記指令ヲ發送スルト同時ニ別記(三) 情報第二篇ヲ發送セリ

四、同盟首腦部ト記者團トノ會見状況

本日午後十時同盟首腦部員北田一郎ハ都下新聞記者ヲ 東京本部ニ招致シテ談話ノ形式ヲ以テ次ノ通り態度ヲ發表 セリ

○北田

市當局發表案ト吾々ノ要求トハ開キカ大キイナ市當局ニ對シ再考ヲ求メラセム 後而本日ノ場合ハ市當局ノ誠意ヲ待ツヨリ他ノ手段カナイナ 若シ誠意ナキ場合ハ 第一般ノ行動ニ出フルヨリ外ハナイ

然レ下ラ首腦部トシテ市民ニ對シ迷惑ヲ避ケル爲メ「スト」ニ就テハ極力避ケサセ ル方法ヲ構ヅツアル市當局ノ誠意ハ大クトシテ二日間程待テ積リテ當局ヨリ會見ヲ求メラセタル 場合ハ何時カモ接済スルニ二日間ノ内誠意ヲ待テ止ムヲ得ズ「スト」ライキヲ実行レセラル、 モノナルガ此ノ間現在ノ状態ヲ持續スル

以上

別記 (一)

声 明 書

一、片塚市長は前市會にて吾が党の質問に對シ、親切なる成案を得、 増結に必要なる予算と共に速急に市會に提案承認を求むる事を 言明し乍ら、ジンセン今日に到らしめ、而も増給率は全く物価騰勢に對 応せず、又登録労働者並に下級吏員。雇員を除外したる極めて不親切 なる彌縫策を以て解決せんとし、事態を悪化せしめたるは遺憾なり。

二、此の問題は他の官公署、民間の事業會社等の下級サラリー・マン並に従業 員一般の物価高に對する生活安定のための増給率に關聯し影響する所 甚大なり。引いては大衆の購買力との關係に於て、小売商の盛衰にも拘 是る所にて、東京市民一般の問題なれば、市當局は更に成案を煉り直し、 眞實に親切なる案を作製し即時市會を召集すべし。

一九三七年四月廿三日

日本無産党

東京市會議員団

加藤勘十